

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長  
(公印省略)

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第8号を下記のとおり発表したので送付します。

平成30年度病虫害発生予報第8号

平成30年11月2日  
岡 山 県

予報概評

| 作物名     | 病虫害名    | 発生量 |
|---------|---------|-----|
| アブラナ科野菜 | ハクサイ白斑病 | やや少 |
|         | べと病     | 並   |
|         | コナガ     | 並   |
|         | ハスモンヨトウ | 並   |
|         | アブラムシ類  | 並   |

(アブラナ科野菜)

(1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 10月15日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月22、25日の巡回調査によると、発生圃場率は20.0%で平年(43.5%)より低かった。

ウ. 11月1日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並とされており、発病を特に助長する条件ではない。

(2) べと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 10月15日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月22、25日の巡回調査によると、発生圃場率はハクサイでは20.0%で平年(19.3%)並、キャベツでは20.0%で平年(12.4%)よりやや高かった。

ウ. 11月1日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は高く、

降水量はほぼ平年並とされており、発病を特に助長する条件ではない。

(3) コナガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は8頭で平年（5.0頭）よりやや多かった。

イ. 10月22、25日の巡回調査によると、ダイコンにおける発生圃場率は25.0%で平年（50.0%）よりやや低く、ハクサイでは10.0%で平年（5.5%）並、キャベツでは発生を認めず平年（8.8%）よりやや低かった。

ウ. 11月1日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並とされており、本虫の発生をやや助長する条件である。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は2,522頭で平年（1,425.0頭）よりやや多かった。

イ. 10月22、25日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めなかった。

ウ. 11月1日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並とされており、本虫の発生をやや助長する条件である。

防除上の参考事項

ア. 平成30年度植物防疫情報第6号（9月12日発表）参照。

(5) アブラムシ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場（赤磐市）の黄色水盤における10月1～5半旬の飛来数は117頭で平年（197.6頭）よりやや少なかった。

イ. 10月22、25日の巡回調査によると、ハクサイにおける発生圃場率は10.0%で平年（3.4%）よりやや高く、ダイコン（平年5.4%）及びキャベツ（平年0.0%）では発生を認めず、ほぼ平年並であった。

ウ. 11月1日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並とされており、本虫の発生をやや助長する条件である。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

